

乳がん検診に関する 検討の経緯等について

平成26年9月18日
厚生労働省健康局
がん対策・健康増進課

乳がん検診のあゆみ

昭和62年	老人保健法に基づく乳がん検診の開始
平成10年4月	老人保健法に基づかない事業と整理 がん検診等に係る経費の一般財源化
平成15年12月	厚生労働省に「がん検診に関する検討会」を設置
平成16年3月	がん検診に関する検討会中間報告 「乳がん検診及び子宮がん検診の見直しについて」
平成20年4月	健康増進法上（第19条の2）の健康増進事業として がん検診を位置づけ

市区町村による乳がん検診の項目等

厚生労働省においては、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」を定め、市町村による科学的根拠に基づくがん検診を推進。

対象年齢	検診間隔	検診項目
平成10年～ 30歳以上	50歳未満は 年に1回 50歳以上は 2年に1回	50歳未満は問診、視診、触診、 50歳以上は問診、視診、触診及び乳房 エックス線検査(マンモグラフィ)
平成16年～ 40歳以上	2年に1回	問診、視診、触診、乳房エックス線検査 (マンモグラフィ)

市区町村による 乳がん検診の受診者数等(平成24年度)

	受診者数	要精密検査 者数	要精密検査 率	がん あった者	陽性反応 適中度※1	がん発見 率※2	未受診	未受診率	未把握	未把握率	精密検査 受診率※3
総数	2511299	210347	8.4%	8047	3.8%	0.32%	11602	5.5%	21200	10.1%	84.4%
40～49歳	791344	83479	10.5%	1967	2.4%	0.25%	5181	6.2%	9647	11.6%	82.2%
50～59歳	645807	55813	8.6%	2007	3.6%	0.31%	3055	5.5%	5712	10.2%	84.3%
60～69歳	741826	50842	6.9%	2721	5.4%	0.37%	2458	4.8%	4315	8.5%	86.7%
70歳以上	332322	20213	6.1%	1352	6.7%	0.41%	908	4.5%	1526	7.5%	88.0%

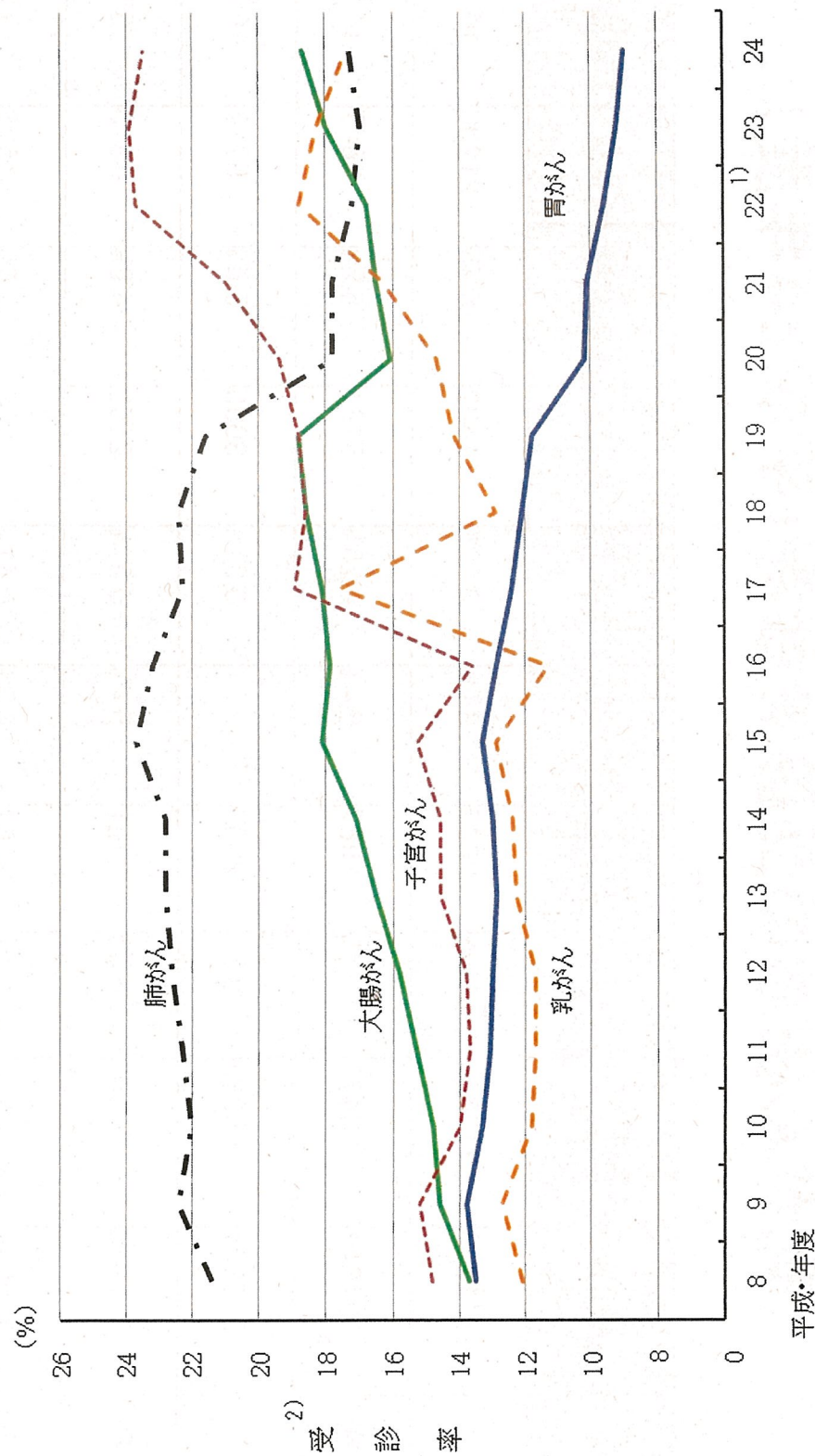
出典：平成24年度地域保健・健康増進事業報告より作成

※1 陽性反応適中度(%)=がんであった者／要精密検査者数×100

※2 がん発見率(%)=がんであった者／受診者数×100

※3 精密検査受診率(%)=100%-(未受診率+未把握率)
にて計算した。

がん検診受診率の推移 (地域保健・健康増進事業報告)



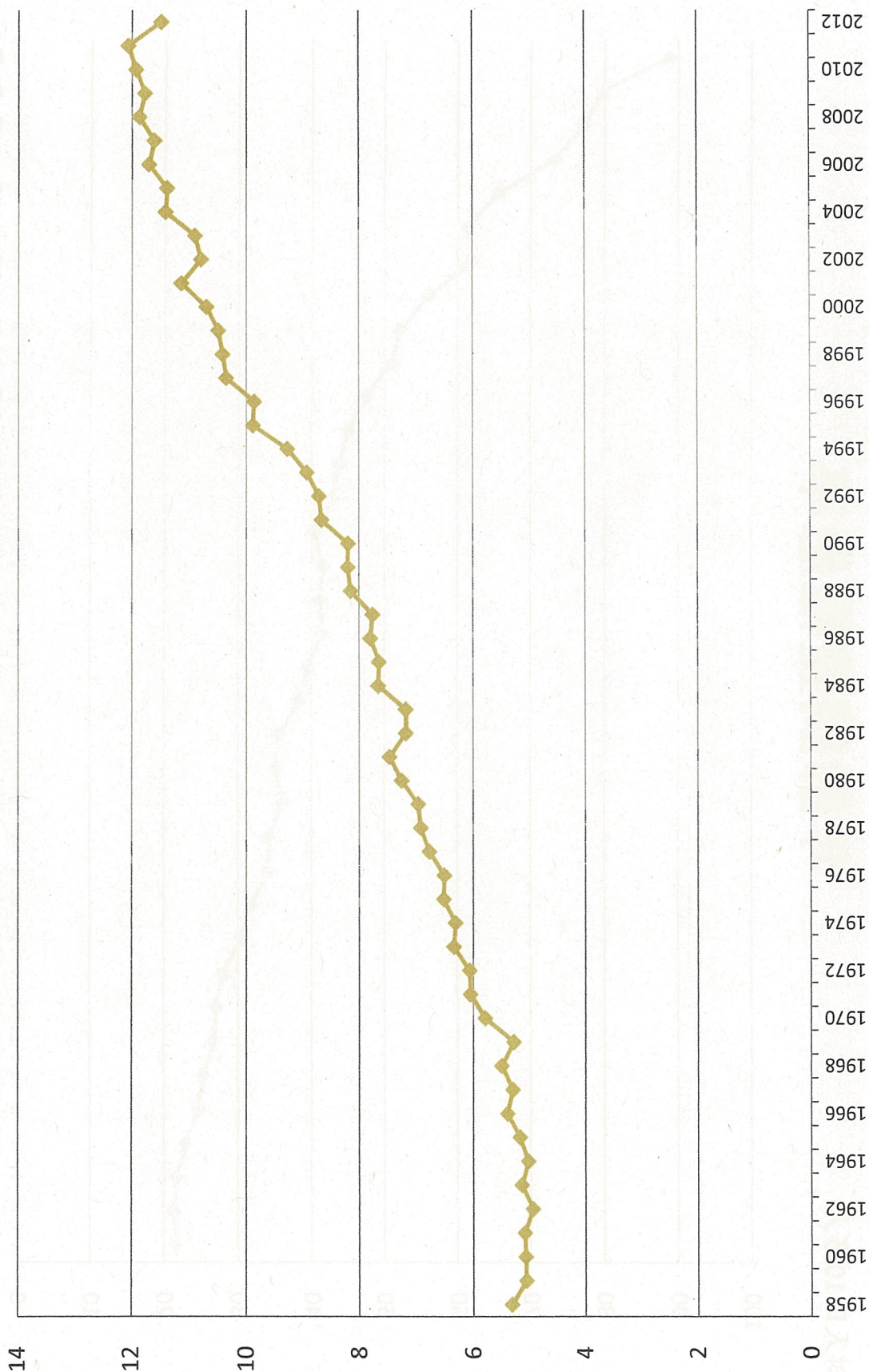
注：「受診率」については、24～28頁「Ⅳ 用語の解説」参照。

1) 平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

2) 受診率は、計数が不詳の市区町村を除いた値である。

乳がん年齢調整死亡率

対人口10万人

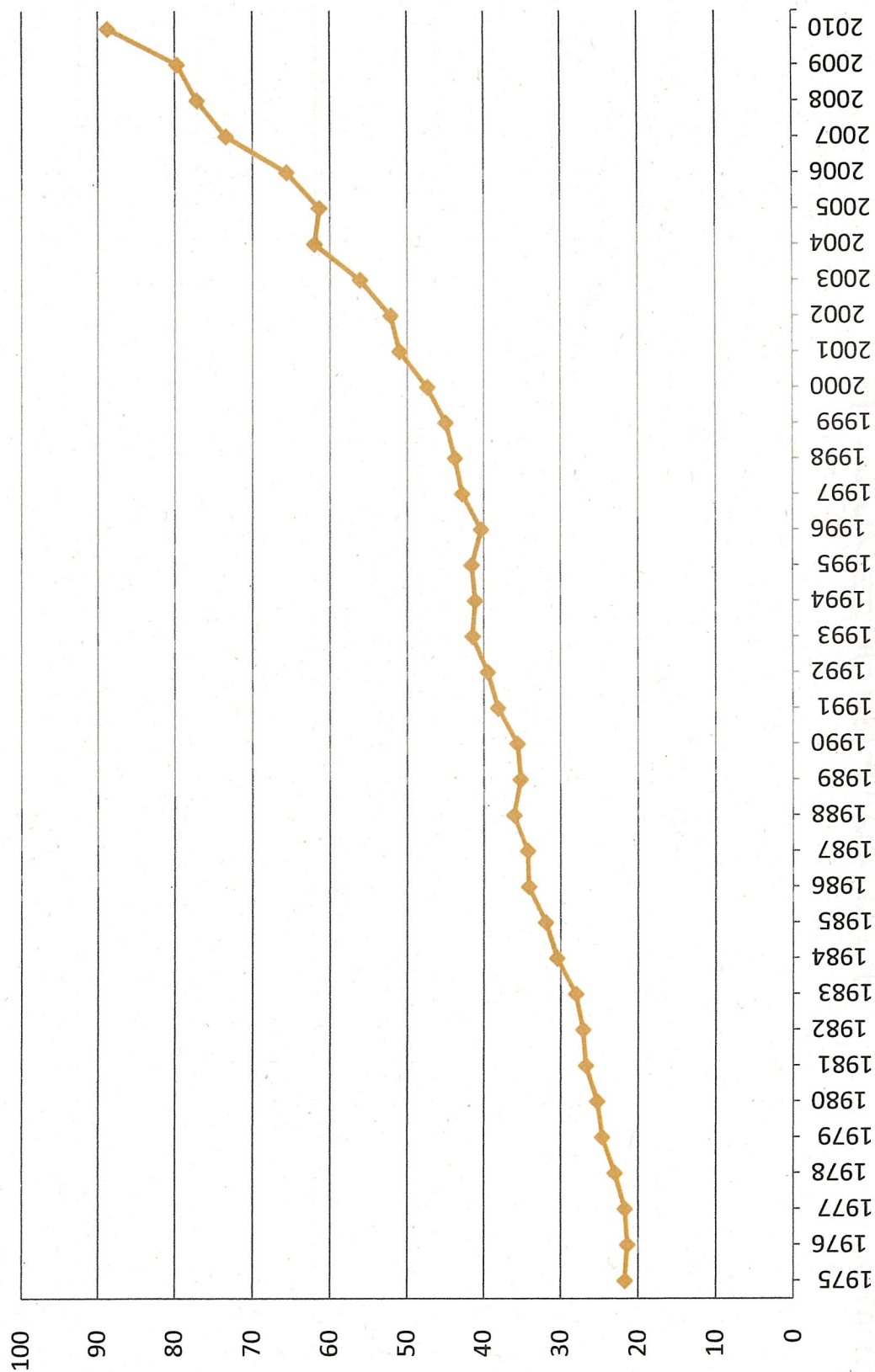


出典：国立がん研究センターがん対策情報センター がん情報サービス/人口動態統計

乳がん(上皮内がん含む)

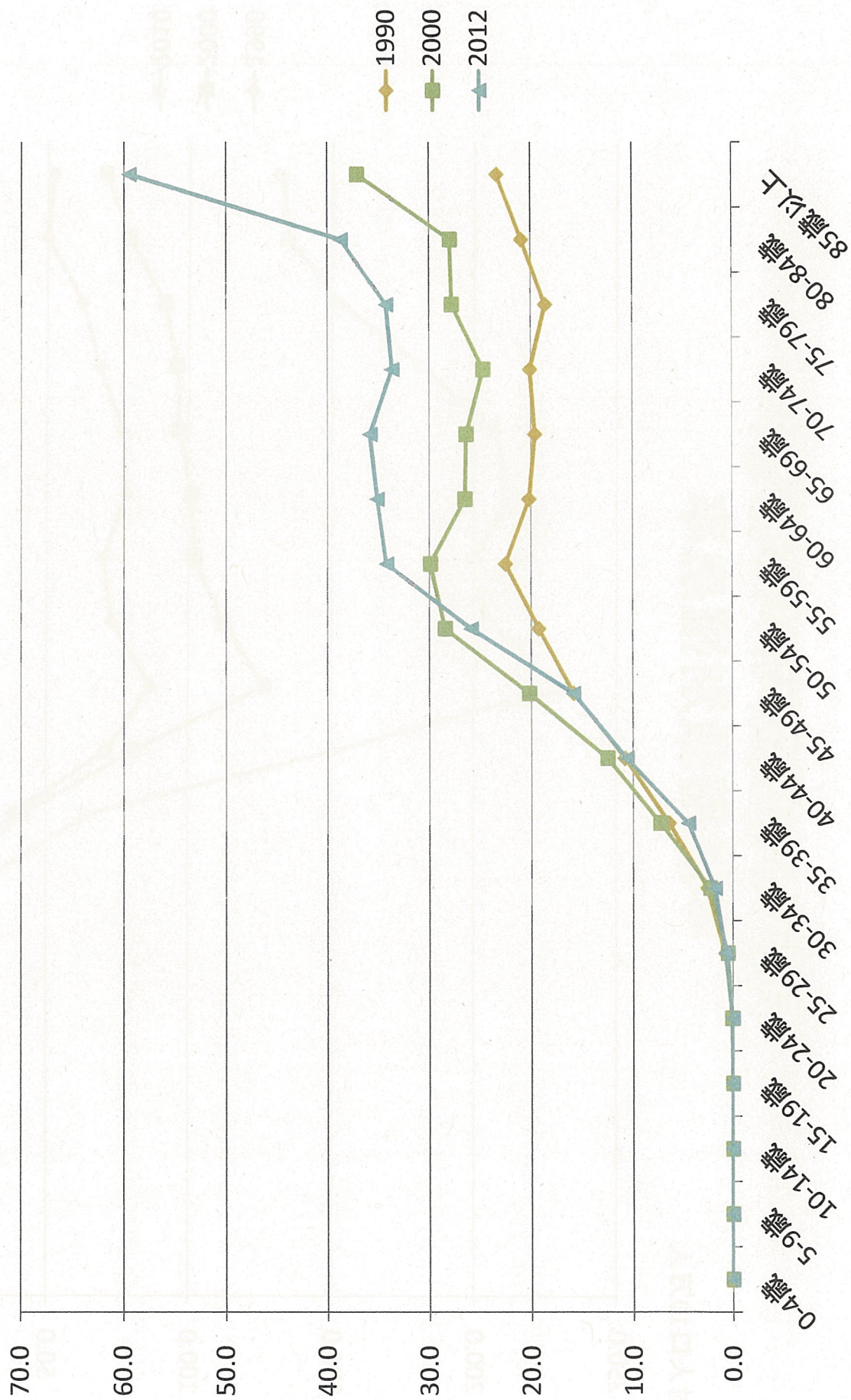
年齢調整罹患率

対人口10万人



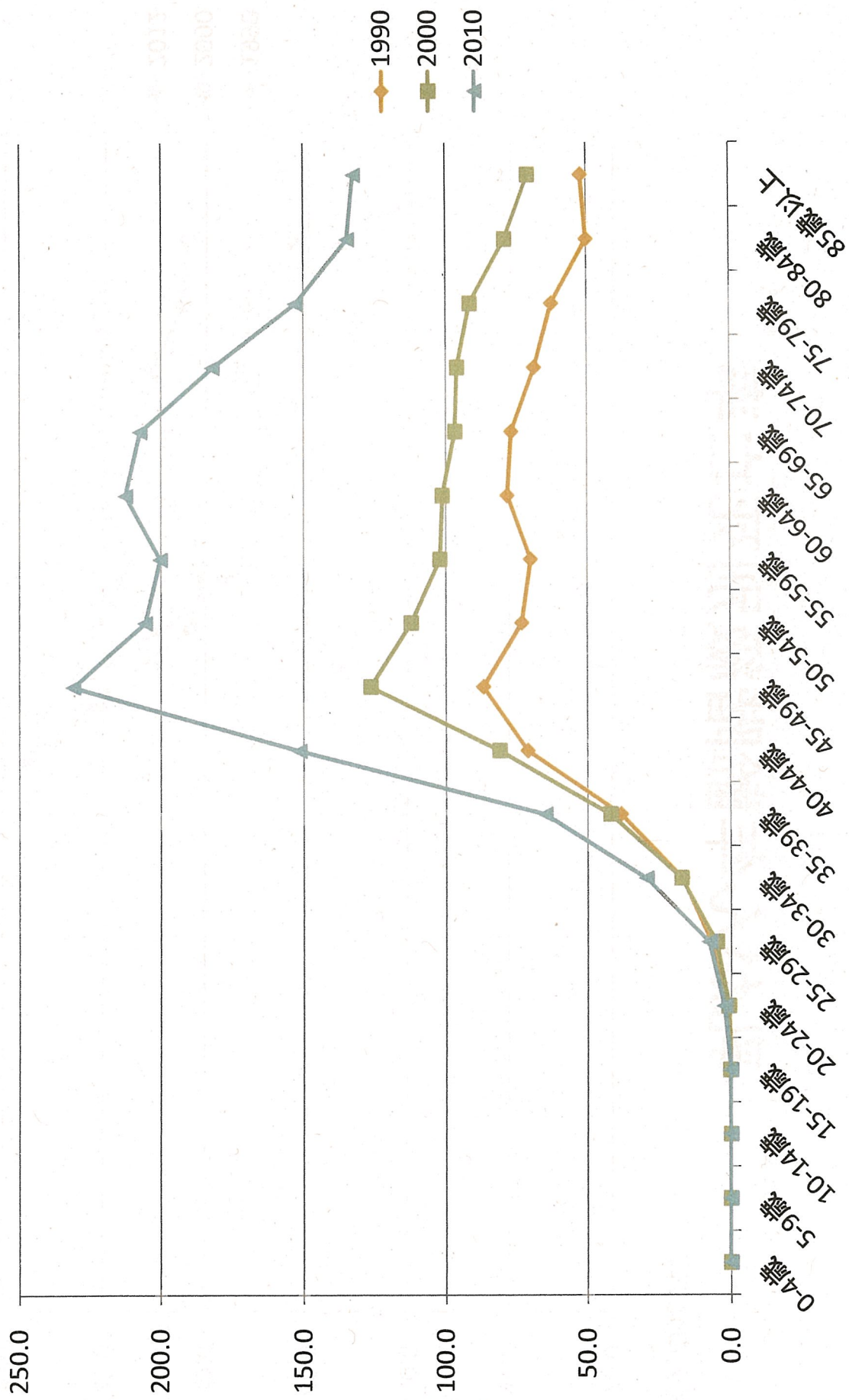
乳がん年齢階級別死亡率

対人口10万人

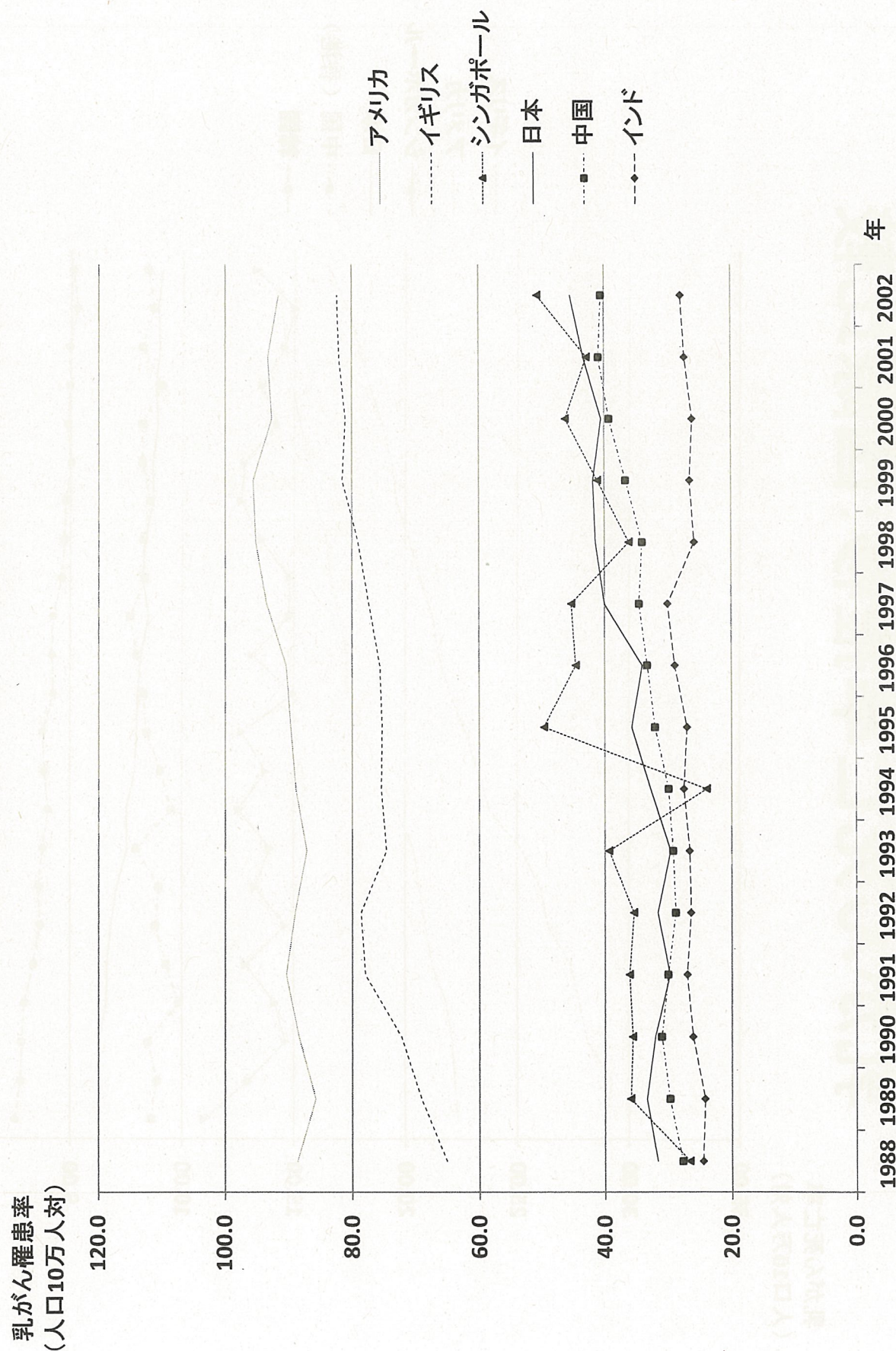


乳がん(上皮内がん含む) 年齢階級別罹患率

対人口10万人



乳がん罹患率推移：国際比較



乳がん死亡率推移：国際比較

